



平山 忠 議員

教育活動にゴルフ導入を

調査研究していく

できればいいと思う。調査、研究していきたいと考えている。

(※)コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

問 小学校のクラブ活動の時間にゴルフを導入し、取り組む考えはあるか。
学校教育課長 小学校のクラブ活動は、年間15時間程度、1時間45分で行っている。ゴルフの導入については、練習場やゴルフ用具に要する費用、さらに、移動手段や時間など様々な課題が考えられる。今後、学校の現状を踏まえて調査研究したい。

問 千葉県匝瑳すさき小学校では、本年度より学区内の民間ゴルフ場の協力を得、クラブ活動の時間にゴルフを選択できるようにした。全児童数37名の小規模校におけるモデル的教育活動であると思うが、本町でも前向きに検討できないか。
教育長 地域とともにある学校、那須町版(※)コミュニティースクールを立ち上げ、一つ一つ問題をクリア

要援護者と町との連携体制は

支援体制を構築中

問 要援護者に対する、町の連携、協力体制はどのように対応しているのか。
町長 災害時における要援護者の方々の情報を共有活用するシステムを構築中。また、訪問介護事業者との連携をとりながら、支援体制をしたいと思っている。

問 要援護者に対して、名簿を活用した支援、確認、安否体制をとる必要がある。常日頃から組織化し、関係機関との連携、地域づくり体制、福祉事業者との連携が重要だと思うが町の考えは。
保健福祉課長 地元の自治

会、班組織の方々に協力をいただかなければならないが、現在災害弱者の把握に努めている。さらに、個別に支援プランを作っていく必要がある。今後町の防災計画に基づきいろいろな勉強会をする考えでいる。



クラブ活動でゴルフを楽しむ匝瑳小学校の子ども達